

6

食べ物以外のアナフィラキシー

アナフィラキシーの原因は食べ物によるものがもっとも多いのですが、他にもハチやクラゲなどの毒性を持った生物、薬、ラテックス(天然ゴム)など日常生活のさまざまなシーンに危険があります。

スズメバチやアシナガバチなどのハチの毒によるアレルギー反応は、刺されてからあっという間に症状があらわれてくるのが特徴です。症状が早くあらわれるほど重い症状になることが多く、時としてアナフィラキシー・ショックをおこしてしまいます。症状があらわれてから15分で命を落とすこともあるんですよ。

また、食べただけではアナフィラキシーをおこさないのに、運動するとアナフィラキシーになる特殊なタイプのアレルギーもあるんです。給食を食べた後の休み時間や体育の時間に強い運動をしているときに「呼吸が苦しい」などの症状があらわれたら、要注意です。

アナフィラキシー・ショックから亡くなってしまう人は、厚生労働省の統計によると毎年40~70人もいます。特にハチの毒では重い症状になるまでの時間がとても早いため、治療が間に合わないことが多いのです。速やかな治療が何よりも大切なんですね。

